Orange Electronic

Orange TPMS for Apple

アップル用オレンジ製TPMSアプリ
取扱説明書

TIRE VITALS

www.orange-electronic.com

注 意

オレンジ製TPMSはメーカー標準装着または純正オプションで装着されたTPMSと互換性はありません。

TIRE VITALS
Fine tuned by Orange Electronic

オレンジ社製TPMS
(タイヤ空気圧監視システム)

TPMSは運転中の安全性を高めるための装置です。装備すると、自動的にリアルタイムで、タイヤ空気圧・タイヤ内温度を監視します。タイヤの空気圧・温度に異常があった時は、リアルタイムに警告を発信し、運転手に表示と警告音にて警告します。TPMSは安全確保以外に、タイヤの寿命を延ばし、燃費の低減にも貢献します。

www.orange-electronic.com

TPMS(タイヤ空気圧監視システム)

FCC 掲示

本装置はFCC規格15項に準じ、下記の2項の条件を満たしています。

1. 本製品は他の有害電波に干渉し、正常作動しない場合があります。
2. 不適正な操作を行うと、システムが正常に作動しなくなる可能性があります。

TPMSはデジタルClass Bの制約に準じます。この制約は電波が住宅地区に干渉することを防ぐためのものです。無線RF信号が発信する為、正確に取付・使用しないと、無線通信を妨害する電波を発生する恐れがあります。但し、正確に施工しても100%干渉が起きないことを保証するものではありません。

注意!!

TPMSは単純に運転手にタイヤの情報を伝達するシステムであり、タイヤ空気圧及びタイヤ内温度の状態を保証するものではありません。

製品の警告表示について

本システムはセンサーでタイヤ内部の圧力、温度を検知し、無線信号で送信します。正常作動中、具体的な値にて、タイヤの圧力と温度を表示します。センサーが空気圧・温度の異常を感知すると、異常信号が車内のブルートゥース受信機を経由し、iPhoneまたはiPadへ送信します。

ブルートゥース受信機は、オレンジ色のランプが点灯し、iPhoneまたはiPadと共に、警告音で運転手に危険を知らせます。
システムがアラーム音で警告した場合は、速やかに車を安全な場所に停止させ、タイヤに異常が起こっていないかを確認してください。

注意:
本システムは無線通信製品となりますので、劣悪な環境・誤った操作・装着不良により、受信しないにとがあります。
10分以上受信しない場合は、該当するタイヤ空気圧表示欄が空白「　」表示します。この場合、車両が電波干渉のしやすい場所にある可能性が高く、空気圧を正常に表示するために、現在位置から移動させて下さい。
移動しても受信しない場合は、ご購入先にてセンサーの状況などの点検を受けてください。

システムの装着について:
TPMSの取付は、
メーカー指定を受け、製品講習を受講した専門店にて、本取り扱い説明書に記載される取付手順に従って、作業を行ってください。
尚、取付指定を受けていない販売店や工場での不適切な取り扱い・分解による製品の損傷は、保証対象外となります。

注意:
本製品は、日本国内車輌のタイヤ空気圧・温度を監視することを補助するシステムであり、お客様自身に帰するタイヤ点検、または、車輌メーカーの規定に基づいた定期点検を代替えするシステムではありません。定期的に本製品が正しく機能しているかエアゲージ等で確認して下さい。
また、リアルタイムで各車輌のタイヤ空気圧・タイヤ内温度をモニタリングしますが、パンク等の急激な減圧を事前に予測するものではありません。お客様自身の責任において、警告に対して迅速かつ慎重にご対応下さい。

警告:
システム装着と使用
このTPMS製品を車両に装着する作業は必ずTPMS取り扱い整備工場で取り付けしてください。
四輪仕様の乗用車向けのTPMS製品ですので、510Kpa以下を推奨する適正な空気圧の乗用車に適用します。

注意:
異常警告に対応
システム警告が発生したら、車両速度を落としながら、安全な場所に停車し、車輪の空気圧タイヤの状況をチェックしてください。

注意:
化学成分使用
タイヤを脱着するときに、使われるビートクリーム或いは潤滑剤は、発信機の作動に影響する場合がありますので、ご注意ください。

Tire Vitals 仕様(製品名)

センサー送信機

保存温度	-40℃ to 125℃
動作温度	-40℃ to 110℃
動作湿度	最大 95%
動作周波数	314.88 MHz ± 50 kHz (一般環境)
測定圧力範囲	0kPa ~ 510kPa(0~74psi)
測定圧力誤差範囲	±10kPa (正常圧力状態で)
測定温度誤差範囲	±4℃
パワー	最大 80dBμV/m
バッテリー電圧	3V リチウム電池
センサー重量	15g ± 2g (バルブ部分含まず)

ブルートゥース受信機

動作電圧	直流 9V ~ 16V
動作電流	≤ 200mA
受信機保存温度	-40℃ to 80℃
受信機動作温度	-10℃ to 75℃

システム同梱品

使ってみましょう

この商品を使う前に、まずApp Store
またはiTunesで【iTPMS】アプリ(無料)
をダウンロードしてください。

Tire Vitals の初期設定

iPhoneをブルートゥース受信機とペアリング設定をして下さい。

1. ブルートゥース受信機をシガーソケットに差し込みます。

ブルートゥース受信機に電源を入れると、
システムが立ち上がります。

iPhoneとブルートゥース受信機のペアリング設定を行います。

2.「iPhoneの設定」というアイコンをクリックしください。

iPhoneとブルートゥース受信機のペアリング設定を行います。

3.「Bluetooth」を選択してください。

4.「Bluetooth」装置をオンにします

5.「iPhoneの設定」から「Bluetooth」をオンに設定するとペアリングを始めます。

6. 画面上に“Orange TPMS”が表示される迄、少々お待ちください。

登録画面

初めてOrange TPMSアプリを起動すると、ユーザー登録画面が表示されます。(後で登録することも可能)

システムオープニング画面

システム起動
アプリが開かれると、TPMSシステムと
iPhone側のブルートゥースは自動的に接続します。

ブルートゥース接続

ブルートゥース受信機がONの場合、センサーは常時ブルートゥース受信機と接続します。
ブルートゥース受信機を不接続にしたり、破損した時は、警告メッセージが表示されます。

センサー低電圧警告

システム作動中、センサーの電池残量が低くなると、警告マークが該当するタイヤの横に表示されます。

主な表示画面

正常表示
タイヤ空気圧・タイヤ内温度が正常な場合は、表示画面のタイヤ色が緑色で表示されます。表示画面をタッチすれば、空気圧・温度情報を表します。

異常時のTPMS警告マーク
タイヤ温度と空気圧異常警告
(異常状況でしか起こらない)

ホーム　システムメイン画面

マイカー　車情報の登録

背景　画面背景色

製品　製品仕様

その他　TPMS各種設定・Q&A

主な表示画面

【一般画面】と【詳細画面】
表示画面をタッチすれば、一般画面と詳細画面を切り替えができます。

低空気圧警告警報

【一般画面】:
TPMS警告マークと異常タイヤを赤色で警告します。

【詳細画面】:
詳細情報画面でも、異常タイヤの圧力値を赤色で警告します。

アプリとブルートゥース受信機共、同時に警告表示し、警報します。

背景選択

上段アイコン: 画面背景色を選択します
下段アイコン: カーモデルを選択します

マイカー情報

使用者はマイカーの情報をアプリにインプットすることが出来ます。

製品

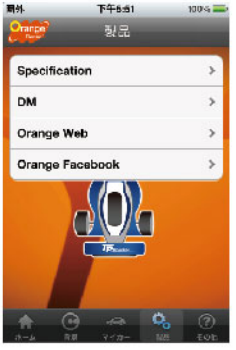
詳細資料：製品仕様

DM
会社製品案内

オレンジウェブサイト
オレンジウェブにリンク

オレンジ Facebook
オレンジFacebookにリンク

以上のリンクはすべてインターネットを経由して、ホームページを開いてください。



その他設定

TPMS 設定:

空気圧警告値設定 / 温度警告値設定 / 警告音 / センサーIDの設定 / タイヤローテーションの設定

***Q&A**
***タイヤ知識**
***登録/製品保証登録**

初期化機能

初期化すると設定した情報すべてが消去されます。

フロント・リアタイヤのタイヤ空気圧の設定について

タイヤ圧力は前後別で設定できます。

タイヤ空気圧単位及び設定:

(タイヤ空気圧は、自動車メーカー推奨空気圧を参考にしてください。)

下記画面で使用者はタイヤ空気圧を設定できます。設定したタイヤ空気圧より80%以下或いは150%以上に達した場合、システムが自動的に、警告アラームを鳴らし、ドライバーに警告します。

特殊環境下で使えるように、空気圧設定値の範囲を広く設定しています。
【例)オフロード走行の環境下では、低空気圧状態にします。】
特殊環境下で走行した後は、必ず正常の空気圧設定に戻して下さい。
尚、空気圧設定範囲は138～330kpaです。

フロント・リアタイヤのタイヤ温度表示の設定について

温度設定:
使用者は温 度表示単位と警告音を選べます。

TPMS 設定/ペアリングに関する設定

各センサーは個別のID番号を持っており、ブルートゥース受信機に登録されております。新しいセンサー又は、受信機に交換した時、センサー又は、受信機が新しいID番号を認識していない時は、使用者はTPMSが正確に動くようにセンサー再認識作業を行って下さい。

センサー認識（2種類の方法があります）

(1)空気を抜いて設定する。
(2)IDキーで設定する。

注意:
新しいセンサーに交換又はタイヤローテーションする場合を除いては、この機能を作動させないで下さい。

センサー認識モード
(1)空気を抜いて設定する場合

例:右前センサー認識

1.画面中の右前タイヤをタッチしてください。
2.「空気を抜いて設定する」アイコンをタッチしてください。
3.警告ダイアログウィンドの中の「はい」をタッチしてください。

センサー認識モード
(1)空気を抜いて設定する場合

4.カウントダウン画面が表示されたら、該当のタイヤの空気を抜いて下さい。新しいセンサーのID番号を認識すると「認識成功」を表示します。
5.該当のタイヤに適正な空気圧まで空気充填してください。

センサー認識モード
(2) IDキーで設定する場合

☆新しく取り付けするセンサーのID番号（6桁）を事前に控えておいてください。

① 右前タイヤを選択。

② 「IDキーで設定する」アイコンをタッチしてください。

③ 6桁のID番号を入力してください。（センサー本体に記載されています）

④ 入力したID番号に間違いがなければ、「OK」をタッチしてください。

TPMS設置/タイヤローテーション

例）右前と左後のタイヤローテーションの場合

1.「タイヤローテーション」をタッチしてください。

2.右前と左後のタイヤのアイコンをタッチしてください。

3.ローテーションダイアログウィンドーの中に、「Yes」ボタンをタッチしてください。

ありがとうございます!
オレンジTPMSアプリ

Orange Electronic

Orange TPMS for apple
APP Introduction

TIRE VITALS
www.orange-electronic.com

CAUTION

Tire Pressure Monitoring System (TPMS) is NOT COMPATIBLE with Vehicle Factory installed TPMS

Orange Electronic

TIRE VITALS

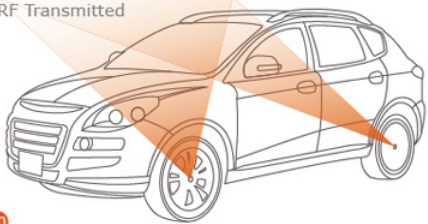
Fine tuned by Orange Electronic

TPMS (Tire Pressure Monitoring Systems)

Tire Pressure Monitoring Systems (TPMS) improves safety while driving. Once installed in your vehicle, the system will automatically monitor your tires in real-time for pressure. When any tire's pressure appear abnormal, the system will, in real-time, transmit signals to active an alarm and show a digital figure to warn the driver of a problem. The system aids safety, can extend the tire life and help reduce fuel consumption.

www.orange-electronic.com

RF Transmitted



TPMS (Tire Pressure Monitoring Systems)

FCC Notice

This device complies with Part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) this device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation.

If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the factoring measures.

- ◎Reorient or relocate the receiving antenna.
- ◎Increase the separation between the equipment and receiver.
- ◎Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.

Caution:
Any changes or modifications in construction of this device which are not expressly approved by the party responsible for compliance could void the user's authority to operate the equipment.
To comply with the FCC RF exposure compliance requirements, this device and its antenna must not be co-located or operating to conjunction with any other antenna or transmitter.

System Scope of Use and Warnings

Tire Pressure Monitoring System, TPMS

This system is a sensing device designed to measure and display tire operation and / or activate an alert to the driver when pressure irregularities are detected. It is the responsibility of the driver to react promptly and with discretion to alerts. Abnormal tire inflation pressure should be corrected at the earliest opportunity.

Caution:
The system is wireless RF product; therefore, it may not receive any single due to the poor environment or incorrect operating or incorrect installation. When the system continually cannot receive any single form any tire sensor, the system will only show a blank " ". In this case, it may be caused by a RF interference environment, driver need to leave current place or check TPMS sensornearby qualified maintain service store.

If the display still cannot receive any correct signal from tire sensor, then, a driver need to find a nearby qualified tire maintain service for checking and maintain. It may be caused by a tire sensor damages or battery power consumption. (If it is in abnormal condition, the tire sensor will continually send warning signal for driver, thus it will consume the battery quickly than normal prediction.)

System Installation and Usage

Use of the TPMS requires qualified personnel according to the instructions here to have it properly installed. This system is suitable for use on a passenger car, SUV and 4x4 tires, with up to maximum cold inflation pressure of 510 Kpa (Guage) (be, low instruction is Guage value mentioned.)

Reacting to Alerts

When an alert or warning is received, reduce vehicle's speed and proceed to a safe location to stop where the tire can be inspected and /or serviced.
The low-pressure alert indicates that the air pressure has dropped to a selected minimum of the tire content which has surpassed the threshold value set.

Use of Chemicals

Temporary resealing or re-inflation products containing internal sealants or propellants in any tire assembly may adversely affect the operation of the sensor/transmitter.

Tire Vitals Specification

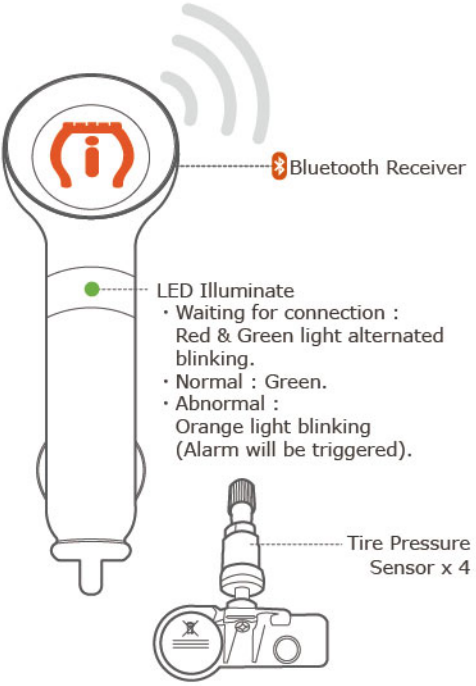
RF Sensor module

Storage temperature	-40℃ to 125℃
Operating temperature	-40℃ to 110℃
Humidity	Max 95%
Carrier frequency	314.88 MHz ± 50 kHz (at normal temperature)
Monitoring pressure range	0kPa ~ 510kPa(0 ~ 74psi)
Pressure accuracy	±10kPa (at normal pressure)
Temperature accuracy	±4℃
Transmission power	Max 80dBμV/m
Power supply	3V Lithium battery
Sensor Weight	15±2gm (do not include valve and screw)

Bluetooth Receiver Module

Operating voltage	9V ~ 16V
Power consumption	≤ 200mA
Storage temperature	-40℃ to 80℃
Operating temperature	-10℃ to 75℃

Product And Accessory


Bluetooth Receiver
LED Illuminate
· Waiting for connection : Red & Green light alternated blinking.
· Normal : Green.
· Abnormal : Orange light blinking (Alarm will be triggered).
Tire Pressure Sensor x 4

Start

Before experience this product, please download【iTPMS】from iTunes.

First time use Tire Vitals

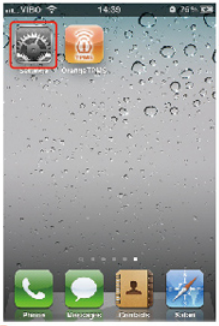
Pair Bluetooth receiver with your iphone

1. Plug receiver into car lighter socket.

Wireless Receiver
Plug and Use

Pair Bluetooth receiver with your iphone

2. Go to Settings of your iPhone then select General.

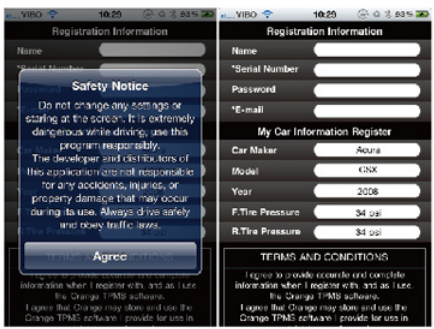


Pair Bluetooth receiver with your iphone

3. Select Bluetooth.
4. Turn on Bluetooth device.
5. Begin to pairing Orange TPMS.
6. Please wait until the "Orange TPMS" device show-up on the screen.

Starting Screen

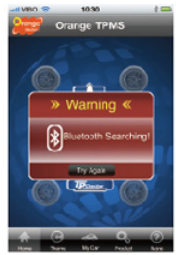
User registration only shown at the first time opening Orange TPMS App, user may also skip it and reclaim later.



System Opening Screen

System Open

TPMS system and Bluetooth connects automatically when app turns on.



Bluetooth Connection

For Sensor And Bluetooth Connection

Sensor connects with Bluetooth receiver full time, if it's power is on. When Bluetooth device is not connected or lost, a warning message will be appear.

Low Battery warning

When Sensor's batter life is low, a warning symbol will be appear beside problem tire

Main Display Screen

Normal display screen - when 4 tire pressure are correct, 4 wheels shows in green color. User can tab anywhere in the screen for detail pressure and temperature information.

TPMS Symbol only appears when abnormal

User's car information input

Home Screen

Product specification

Background theme selection

TPMS Setting and Q&A

Main Display Screen
Normal View and Detail View

Touch anywhere in the main Screen to switch Normal and Detail view.

Low Tire Pressure View

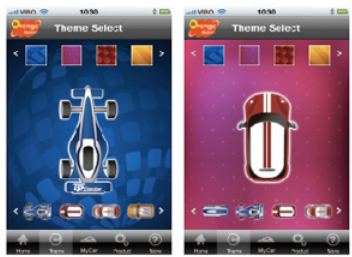
Normal view :
TPMS Symbol blanking abnormal tire highlighted in red.

Detail view:
Tab screen for detail information, also in red.

Both App and Bluetooth receiver beeps at mean time to warn.

Theme Select

1.Upper Icons ： For background select.
2.Below Icons : For model car select.



My Car Information

Users can input his/her car information into App

Product

Specification
Product Spec.

DM
Ad material.

Orange Web
Link to Orange official website.

Orange Facebook
Link to Orange's FB page.

All above require internet access for viewing.

More

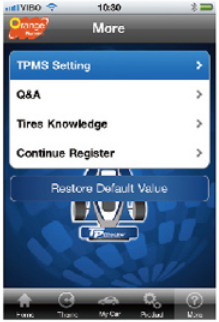
TPMS Setting
For further TPMS system setting.

Q&A
Frequent TPMS system questions and answers.

Tire Knowledge
Tire Safety tips.

Continue Register
Reclaim user's product warranty registration.

Restore Default Value
Reset all settings to default setting all information will be lost.



TPMS System Setting - Settings

F. and R Tire Pressure
Tire pressure unit display select.

(This setting, please refer to the depot specified standard value)

Down below for user prefer pressure setup system warns when tire's pressure is under 80% or above 150%, App allows user to set the standard level for special usage, such as off roading, have to deflate pressure much lower than normal, system may consider tires are in dangerous condition and warns driver.

This feature is limited in between 20~48 psi

TPMS System Setting - Settings

Temperature Alert

User can select prefer temperature display unit, temperature alert level is also adjustable for user prefer.

TPMS System Setting - About Sensor Learning

Each sensor has individual ID number, and pre recorded into receiver, when change a new sensor or receiver, sensors or receiver will not recognized the new ID numbers, user have to do sensor relearn in order to make TPMS working properly.

Sensor Learning (Alternative)

(1) Deflation Relearn
(2) Manual Key In

Notice:
Do not operate this faction unless user has to swap new sensor or may cause tire position misplaced.

Sensor Learning mode - (1)Deflation Relearn 1/2

Example: R Front tire pairing.

1. Select R, Front Tire.
2. Select learn by deflation
3. Select "Yes" on warning window.

Sensor Learning mode - (1)Deflation Relearn 2/2

Example: R Front tire pairing.

4. Deflate tire pressure during processing countdown once new sensor has been recognized, system will inform you "operation succeed". then press ok.

5. Inflate tire pressure to standard level.

Sensor Learning mode - (2)Manual Key In

1 Select R, Front tire.

2 Select "Learn by ID key in"

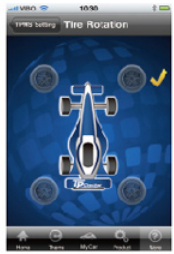
3 Enter 6 Digi ID# then Select OK.

Operation Succeed select OK. 4

Sensor Learning mode - Tire Rotation

Example: R Front, R Rear rotate

1. Select Tire Rotation.
2. Select rotated Tires.
3. Select Yes to Complete.



Thank you!

Orange TPMS APP